

## 注意事項

# 床・低温床暖房対応品

床暖房を使用する際、施工後初めてご使用または冬季に初めてご使用の場合は、使用時から約1ヶ月以内は、ならし運転とし、低めの設定温度から、徐々に所定温度に上げていくようにご使用ください。



急激な温度変化や高い温度でご使用になりますとフローリングと電気式床暖房と馴染んでおらず、負荷が掛かり、ひび割れや剥離などの原因になります。

施工後初めてご使用の場合、養生期間（最低3日以上）経過後、必ず試運転を行ってください。

### 温度について

低温床暖対応：表面温度が25～28度でご使用ください。

温水式のご使用も可能ですが、立ち上がりの際、温度が28度以上になる可能性が高く、表面温度が28度以上になりますと、ヤセやひび割れ等になる可能性があるため、温水式をご使用になる場合、必ず低い設定温度でご使用ください。

不適切な温度設定でのご使用によるフローリングのヤセやひび割れ等に関して、弊社は責任を負いかねますので、予めご了承ください。

### 水分によるダメージの可能性

湿気や水気に弱いため、水分によってダメージを受けやすく、水分によって伸縮をする木材は、積層の合板が多量の水分を含んでしまうと乾燥する際の伸縮でヒビや剥離の原因となります。

### 過乾燥によるダメージの可能性

空気乾燥や床暖の長時間の継続使用により、フローリングが乾燥しひび割れを起こす場合があるため、室内湿度を50%程度に保ってください。

(加湿器をご使用の場合、フローリングに蒸気等水分が直接当たらないようご注意ください。)

温風ヒーターやストーブをご使用の際は、フローリングに直接熱や温風が当たらないように暖房機の下に断熱性のあるシートやマットを敷いてください。

また、床暖房の上にカーペットなどを敷いても熱がこもってしまう為、ひび割れの原因となります。

### 加重や摩擦によるダメージの可能性

さねのつなぎ目部分に、加重などの強い負荷やキャスターなどによる摩擦を繰り返すと、表面のひび割れの原因となります。

### メンテナンスの注意点

日頃のお手入れは、ゴミや埃を取り除き、乾いたモップや雑巾での乾拭きで十分です。

塗れ雑巾などを頻繁に使用すると、フローリングの表面にひび割れが発生したり、つなぎ目から水分が入ることで膨れや隙間、表面の剥がれが生じることがあります。

## 施工方法

# 床暖対応（温水マット式床暖）複合フローリング

### 施工前の注意

- 立て掛けの保管、湿度の高い場所や直射日光の当たる場所での保管は、反り、捻れ、スキ、突き上げの原因となるため、必ず避けてください。
- 天然無垢素材を使用しているため、色と柄の違いがあるので、予め振り並べし、全体のバランスがとれるように施工してください。
- 施工後の床鳴り、突き上げなどの不具合を防ぐために、床下地に段差が出ないように施工してください。（捨て貼り合板は含水率が15%以下の合板を使用してください。）

### 施工上の注意

- 接着剤は専用のウレタン樹脂系接着剤を使用してください。※注）酢酸ビニール系、木工用ボンド等は使用しないでください。
- フローリング用スクリュー釘（38 mm以上）かステーブル釘（38 mm以上）を使用してください。
- 温水マットの小根太と捨て貼り合板の境目には、フローリングの継ぎ目が重ならないように割り付けて、施工してください。
- 釘打ちは、温水マットの小根太と重なる部分及び、捨て合板部分のみ行ってください。それ以外の部分は絶対に打たないでください。（釘は45度の角度で小根太に確実に打ってください。長手オスサネ部に7箇所以上、短手オスサネ部に2箇所以上打ってください。）
- フローリングの小口（エンドマッチ部分）の接続が、温水マットの小根太の上にくるように施工してください。また、温水マットの小根太とフローリングは、必ず直交方向に取り付けてください。
- 多湿時のフローリングの伸びを考慮して、クサビ等を用いてフローリングの端面の突き合わせ部分から壁際まで3～5 mm間隔をあけて施工し、貼り終わり後は必ずクサビ等を取り除いてください。
- 接着剤は、小根太の上及び小根太の延長上の温水マット表面、捨て貼り合板もしくは床材の裏面にビート状に塗布してください。（接着剤は点付けではなく、間隔：303 mm以下で、小根太の巾いっぱい塗布してください。）
- 温水マット周辺部の捨て貼り合板は、温水マットと同厚の12 mm合板（J A Sタイプ1）を使用し、釘と接着剤を併用して施工してください。温水マットとの継ぎ目に段差のないように仕上げてください。

### 施工後の注意

- 施工後は表面保護のため、木屑・砂・ゴミを完全に取り除き、養生シート等で、隙間なく全面養生してください。その際フローリングに直接養生テープを使用することは避けてください。フローリング表面の塗布剥離を起こす恐れがあります。
- 施工中に雨の吹き込みによりフローリングの表面を濡らすと、突き上げや表面化粧板のハガレやシミの原因になるので、ご注意ください。
- カーペット（ラグ）やストーブを使用すると、熱によりフローリングに割れ、狂い、変色が生じる恐れがあるので、ご注意ください。

### 免責事項

- 天然無垢素材を使用しているため、特有の色ムラ、柄の違いがあるので、ご使用前に十分ご理解の上施工してください。品質以外の原因での返品・交換はお受け致しかねます。
- 商品開梱時に品質上の問題が見つかった場合は施工せずに、7日以内に弊社へご連絡してください。施工後のクレームは原則としてお受け致しかねます。